

名古屋大学の知を高校生に 学びの杜・学術コース 2019

主催：名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター

高校生対象
受講料無料



— 学問の世界を知り、創造的な学びの力をきたえる —

「学びの杜・学術コース」は、名古屋大学の教員を中心とする研究者たちが、各学問領域における物の見方・考え方やこれまでの研究成果をわかりやすく解説する、本格的な学術講座です。

大学レベルの高度な「学び」を体験することで、知の探究のたのしさや厳しさにふれるとともに、自分自身の興味や関心について深く考え、進学や将来のキャリアデザインにつなげてください。みなさんの参加をお待ちしています。

生命科学探究講座

生物多様性からみた生命および、生命を支えるしくみについて学び、生物の進化と多様性を、様々な角度から考えます。

物理学探究講座

今日、科学的に広く受け入れられている宇宙の誕生と進化について学びます。

地球市民学探究講座

グローバル化がもたらす様々な問題について学び、異文化理解の方法、地球市民としてのあり方を考えます。

チーム医療(多職種連携医療)探究講座

少子化・超高齢化時代を迎える日本に必要な「チーム医療(多職種連携医療)」について学び、「住民が地域社会で幸せに暮らせる社会」を考えます。

コンピュータ・電子工学探究講座

電子回路の製作演習と簡単なプログラミングを通して、その先にあるデータサイエンティストへの道について紹介します。

インフラ工学探究講座

インフラの役割と今ある問題、防災・減災対策について学び、安心・安全な生活とインフラ工学の関係を考えます。

人文学探究講座

世界各地の文化や社会、あるいはその歴史を通して、人間の営みについて考えます。

視覚文化探究講座

写真、絵などの視覚情報について学び、そこでどのような思考ができ、役立つのかを、講義とワークショップを通して考えます。

人間発達科学探究講座

人間の発達・学習・社会化など「人間形成」に関わるさまざまな問題を、各コースの先生と一緒に考えます。

会場：名古屋大学 東山キャンパス(チーム医療探究講座は鶴舞キャンパス) ※会場案内はメールでお知らせします。

受講申し込み方法・注意事項

申し込みはメールで受け付けます。①受講を希望する講座名と講義番号 ②学校名・学年 ③氏名・ふりがな ④当日連絡可能な携帯電話等の番号 ⑤緊急連絡先(保護者に連絡できる電話番号)を明記し、下記アドレス宛に送ってください。

◎受講希望者本人が直接申し込んでください。◎申し込みは先着順に受け付けます。申し込み時に既に定員に達していた場合は、受講していただくことができません。

◎申し込み確認と会場案内はメールで行います。必ず下記アドレスからのメールを受信できるようにしておいてください。また、申し込みから3日以内に返信がない場合は、お手数ですが再度確認のためご連絡ください。◎申し込み締め切りを過ぎていても、受講を受け付けられる場合があります。下記メールアドレスまでお問い合わせください。

〈申し込み・問い合わせ先〉

〒464-8601 名古屋市中種区不老町 名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属 高大接続研究センター
chet@educa.nagoya-u.ac.jp

学びの杜Webページはこちら→



生命科学探究講座

SSH 名古屋大学教育学部附属高校 スーパーサイエンス・ハイスクール授業の一般公開

定員：30名

申し込み締め切り：7月5日(金)

生命科学について、名古屋大学博物館、生命農学研究科、理学研究科の先生方に講義をしていただきます。

●一定条件を満たした参加者には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	7月16日(火) 15:00-17:00	発光生物の科学 大場裕一(中部大学応用生物学研究科/発光生物学)	様々な光る生き物を紹介し、その発光のメカニズムと最先端研究への応用について解説します。
2	7月23日(火) 13:30-15:00	鉱物と生物—地球上の物質循環と生命 吉田英一(名古屋大学博物館/環境地質学・応用地質学)	地球上の物質循環と鉱物、生命との関係について、鉱物やコンクリーション標本などを用いて講義します。
3	7月23日(火) 15:30-17:00	植物から学ぶ生物の多様性 西田佐知子(名古屋大学博物館/植物生態学・分類学)	植物は地球上に約28万種いると言われています。なぜこんなに多様なのでしょうか？実際の植物を観察しながら、生物の多様性について考えます。
4	7月29日(月) 13:30-15:30	二枚貝から「中生代の海洋変革」を学ぶ 大路樹生(名古屋大学博物館/古生物学・古生態学)	二枚貝を詳しく観察することによって、その構造がその生態と捕食者からの防御と深く関係していることを理解し、「中生代の海洋変革」との関連を学びます。
5	7月30日(火) 13:30-15:30	生物多様性(Biodiversity)—多様性って何だろう 東田和弘(名古屋大学博物館/地質学・テクトニクス)	生物多様性を例に、“多様性”の意味を考えます。多様性は守るべきか否かについて、自分自身で考えます。
6	7月31日(水) 13:30-15:30	アフリカで生まれた人類が日本人になるまで 門脇誠二(名古屋大学博物館/先史考古学)	アフリカで誕生した人類が、いつ、どのように日本列島にやってきたのでしょうか。人類進化史のドラマと日本人の起源の最新事実についてお話しします。
7	8月1日(木) 13:30-15:30	骨の形から復元する絶滅動物の姿 藤原慎一(名古屋大学博物館/機能形態学)	恐竜はどんな姿勢で歩いていたのでしょうか？現生の動物の骨や筋肉の特徴から、絶滅動物の姿勢を復元する方法について考えます。
8	8月2日(金) 10:00-12:00	花の謎解きから新種誕生へ 東山哲也(トランスフォーマティブ生命分子研究所/生殖分子情報学)	花は見て美しいだけでなく、植物の種の維持、新種誕生、人類の食糧生産に関わる重要な役割を持ちます。花の内部で起こることについて、研究の最前線を紹介합니다。
9	8月22日(木) 10:00-12:00	食べ物がどうやって栄養になるか 小田裕昭(農学部・生命農学研究科/栄養生化学)	食べたものが身体に取りこまれる消化吸収のメカニズムと、それが生物にとってどのような役割を果たすかについて学びます。
10	8月23日(金) 10:00-12:00	動物生産の科学 井上直子(農学部・生命農学研究科/動物生殖科学)	牛肉や牛乳はどのように生産されるのか？動物の生殖メカニズム、動物生産の現状や問題点を学び、科学的な解決方法について考えます。

チーム医療(多職種連携医療)探究講座

定員：15名

申し込み締め切り：7月15日(月)

会場：名古屋大学医学部(鶴舞キャンパス)

担当：医学部・医学系研究科地域医療教育学寄附講座

我が国は超高齢社会を迎え、地域医療現場にも時代にあった新たなシステムや考え方が求められています。その一つが「チーム医療(多職種連携医療)」です。医療機関だけでなく地域社会で、在宅医療、訪問看護、服薬指導、リハビリ、介護、福祉から社会活動までをつなげることで、すなわち、多職種協働によるチーム医療の提供により、1人1人の住民が、地域社会で幸せに暮らせる事を目指しています。

1	7月22日(月) 13:00-16:00	チーム医療(多職種連携医療)について学ぶ 岡崎研太郎(糖尿病・総合診療医学・医学教育学)、高橋徳幸(家庭医療学・医学教育学・総合診療医学)、末松三奈(糖尿病・医学教育学)、藤原道隆(附属クリニカルシミュレーションセンター/消化器外科・内視鏡外科学)	なぜ、チーム医療が求められているかをご存知ですか？医療機関では医療安全の観点、患者ケアの質の向上、医療の効率化をはかるため、多職種協働による医療、すなわちチーム医療が求められています。また、少子化および超高齢社会を乗り越える社会モデルとして、厚生労働省は地域社会における多職種連携を推奨しています。本講座では、クイズやミニレクチャーだけでなく、クリニカルシミュレーションセンターの協力を得て、シミュレーション設備見学と体験などの機会を通して、多職種が協働して行うチーム医療について考えたいと思います。
---	-------------------------	---	--

インフラ工学探究講座

定員：25名

申し込み締め切り：7月31日(水)

担当：工学部・工学研究科土木工学専攻

道路・鉄道・上下水道・電力施設・通信施設・堤防・港湾施設・防災施設などのインフラの役割を、近年頻発する地震などに対する防災・減災対策と、社会問題となりつつある老化の観点から学びます。安心・安全な生活とインフラ工学の関係を考えてください。

●この講座に参加する場合は3つの講義すべてを受講してください。

1	8月16日(金) 10:00-11:45	橋の老朽化と対策 中村 光(コンクリート構造学・維持管理工学・耐震工学)	インフラの代表的な構造物である橋を取り上げ、橋が劣化する原因、橋の状態の診断技術、橋を直すための修復技術を紹介합니다。また、名古屋大学の中に世界で初めて作られた点検研鑽用の橋を使って、橋の診断をする臨床実習を行います。
2	8月16日(金) 12:45-14:20	津波のメカニズムと予測 水谷法美(海岸工学・海洋工学)	津波とはどのようなものか？津波の高さはどのように決まるのか？津波の高さをどのように予測するのか？津波に関する基礎知識と最新の技術について紹介します。
3	8月16日(金) 14:35-15:50	液状化の発生と対策 野田利弘(土質工学・地盤工学・地盤防災工学)	どのような場所で液状化が発生しやすいかという発生原因や、液状化が及ぼす影響を、簡単な実験と最新のコンピュータシミュレーション技術を用いて紹介します。

地球市民学探究講座

SSH

名古屋大学教育学部附属高校 スーパーサイエンス・ハイスクール授業の一般公開

定員：30名

申し込み締め切り：7月3日(水)

グローバル化の中の様々な問題—偏見・差別、環境、病気、ジェンダー、メディアリテラシー—を取り上げながら異文化理解の方法や地球市民としてのあり方について考えます。

●一定条件を満たした参加者には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	7月7日(日) 10:30-12:30	疾病の恐怖：人間と感染症との闘い 福田真人(名古屋外国語大学世界教養学部/比較文化・医学史)	人類はどの時代にも、なんらかの疾病に直面して来ました。天然痘は、かつて日本で痘瘡(ほうそう)と呼ばれ、死病でした。コレラは、19世紀のヨーロッパを襲い多数の死者を出しました。そして、今、AIDSやSARS、エボラ出血熱が、鳥インフルエンザ同様に怖い。人々はこれらの恐怖とどのように戦ったのでしょうか？
2	7月18日(木) 13:30-15:30	日本人の英語教育における学習不安 岩城奈巳(国際教育交流センター/英語教育・帰国子女教育)	日本人は外国語、特に英語を学ぶにあたって、いろいろな不安を感じます。自分の発音がおかしいのではないかと、間違えをすることによって周りの人に笑われるのではないかなど、語学教室の中で多くの不安に直面します。こうした英語学習の不安について、皆さんと一緒に検討します。
3	7月20日(土) 10:00-12:00	人種偏見・差別の心理学 高井次郎(教育学部・教育発達科学研究科/社会心理学)	人種偏見を持ったり、人種差別をしたりすることは良くないの言うまでもありません。でもなぜ我々は差別をしてしまうのか。気づかずに、無意識的に差別をしてしまうこともよくあります。人種偏見を心理学的に解明しましょう
4	7月23日(火) 10:00-12:00	海外留学のススメ 星野晶成(国際教育交流センター/教育社会学・国際教育交流)	近年は、学生の間で海外留学を経験することがあまり珍しいことではなくなりました。海外留学するメリット・デメリットは何か？海外留学するとなぜ良いのか？現在の日本の海外留学の動向を踏まえて、皆さんの今後の進路や将来設計の中に、海外留学をどう組み込ませていくかを一緒に考えていきます。社会に出る前に、海外経験を知らない恥をかく時代がすぐそこに来ているかもしれません。
5	7月24日(水) 10:00-12:00	ジェンダーの視点から考える近代化教育 榊原千鶴(男女共同参画センター/女性教育史・日本中世文学)	1872年(明治5)、日本最初の近代学校教育制度である学制が公布されました。この学制により、普通教科における男女同等の理念のもと、女子にも男子と同じ教育を施すこととなりました。しかし、やがてこの理念は崩れます。授業では、海外からの影響もふまえながら、日本の近代化教育における男性/女性の差異化について考えてみます。
6	7月25日(木) 10:00-12:00	東洋の宝石(ヒスイとラピスラズリ)と西洋の宝石(ダイヤモンド) 足立 守(環境学研究科附属地震火山研究センター/地質学)	縄文人が愛し東洋の宝石とも呼ばれるヒスイは、西洋の誕生石には含まれていません。一方、仏教の経典に登場する宝石にはダイヤモンドやエメラルドはありません。本物の宝石(の原石)を見ながら、東洋と西洋の違いを考えてみます。
7	7月26日(金) 10:00-12:00	スマホがあれば、新聞はいらない？ 辻 篤子(国際機構国際連携企画センター)	ニュースでも何でも、情報はスマホで簡単に手に入る時代です。紙の新聞なんて古くさいと思いませんか？でも、スマホのニュースも新聞記事がもとになっているものがたくさんあります。大切なのは、あふれる情報の中から確かなものを選んで利用することです。新聞記者としての経験をもとに、情報との付き合い方を一緒に考えましょう。
8	7月27日(土) 13:30-15:30	変わる中国、変わらない中国～巨大な隣国の現在を知る 砂山幸雄(愛知大学現代中国学部/現代中国政治・思想研究)	中国はここ30年ほど、ものすごい勢いで発展し、IT技術の社会への応用や高速鉄道網などでは世界の最先端を走っているといっても過言ではありません。しかし政治の分野では変化は少なく、文化面では儒教などの伝統的文化の復活もみられます。この新しいものと古いものが入り混じる現在の中国をどのように理解したらいいのか。一緒に考えましょう。
9	7月29日(月) 10:00-12:00	「草原の国」モンゴルの歴史と現在 中村真咲(名古屋経済大学経営学部経営学科/憲法・比較法)	「草原の国」と呼ばれるモンゴルは、激動の20世紀のアジアにおいて、中国とロシアという大国に挟まれながらも100年にわたって独立を維持してきました。伝統的な遊牧を残しながらも、国際政治の最前線で大国と渡り合いながら独立を守ってきたモンゴルの歴史と現在について一緒に考えていきます。
10	7月31日(水) 10:00-12:00	人口減少時代のまち 小松 尚(環境学研究科/都市環境学)	ご存じの通り、日本の人口は現在減少傾向にあり、このままだと2050年代前半には日本の人口は1億人を切ると予測されています。そこで、人口減少時代のまちの課題や対策について、一緒に、そして前向きに考えてみます。

物理学探究講座

SSH

名古屋大学教育学部附属高校 スーパーサイエンス・ハイスクール授業の一般公開

定員：40名

申し込み締め切り：9月27日(金)

今日、科学的に広く受け入れられている宇宙の誕生と進化について学びます。

1	10月5日(土) 10:00-12:00	観測的宇宙論 福井康雄(理学部・理学研究科/電波天文学)	現代の天文学は、宇宙と生命の起源を探ることを目指しています。南米チリの高地に設置した電波望遠鏡「NANTEN2」は、電波によって星が生まれるプロセスを観測し、「星と銀河の起源」を解き明かそうとしています。最新の観測で分かっていた宇宙の素顔を紹介します。また、宇宙に関して日頃疑問に思っていることを質問してください。疑問に答えながら講義を進めます。
---	-------------------------	---------------------------------	---

コンピュータ・電子工学探究講座

定員：20名

申し込み締め切り：8月10日(土)

AI、IoTが話題となっています。世界中で多くの企業がこの技術を用いた製品の開発にしのぎを削っています。そして、この技術の研究・開発を担うデータサイエンティストが強く求められています。

一方で、Raspberry Piという名の小さなボードコンピュータが人気です。コンピュータ本体は4~5千円で購入できます。これに、ディスプレイ、キーボード、マウスをつければ立派なパソコンです。このパソコンを使えばロボットやAIスピーカを自分で創ることができます。Makers Fairでネット検索をすると、Raspberry Piなどで楽しく遊んでいる人々を垣間見ることができます。実は、Raspberry PiはAI、IoTなどへの入り口でもあります。

本講座ではコンピュータ+電子回路で遊ぶ体験を通して、その先にあるデータサイエンティストへの道について紹介します。

1	8月31日(土) 13:00-17:00	Raspberry Piの魅力：遊びからAI, IoTへ 古橋 武(工学研究科情報・通信工学専攻)	Raspberry Pi + 電子回路の製作演習と簡単なプログラミングを体験できます。製作課題は、例えば、ロボットもどきやAIスピーカもどきを作ります。全てが初めてでも、段階的に作っていきます。二人一組で協力して課題に取り組みます。製作体験を通して、その先に広がる新しい世界について学ぶことができます。本講座が進学先を考える一助となるかも知れません。
---	-------------------------	--	---

人間発達科学探究講座

定員：20名

申し込み締め切り：各講義の実施2日前

●すべての講義を受講した参加者には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	7月24日(水) 10:30-16:15 (休憩12:00-13:00)	〔国際社会文化コース〕 多文化共生社会をデザインする 伊藤彰浩(教育学部・教育発達科学研究科/教育社会学) 松本麻人(教育学部・教育発達科学研究科/比較教育学)	グローバル化の進展に伴い、私たちの身近でも異文化に接する機会が増えて久しくなりました。一方、海外に目を転じてみると、移民問題など、多文化社会における様々な葛藤に関するニュースもよく耳にするようになりました。日本では、政府の外国人労働者受け入れ拡大政策により、今後さらなる社会の多文化化の進行が予想されます。こうした新たな局面を迎える中、多文化共生の実現のために、教育分野ではどのようなことがなされるのか、考えてみたいと思います。
2	8月1日(木) 10:30-16:15 (休憩12:00-13:00)	〔学校教育情報コース〕 授業を分析すると何がわかるか? 坂本将暢(教育学部・教育発達科学研究科/教育方法学)	いま、日本の教師が古くから取り組んできた授業研究が、世界から注目されています。「面白い」「楽しい」「引き込まれる」など受け止め方は人さまざまですが、その要因は何でしょうか?授業を分析する方法を考えて、実際に取り組み、授業の意義を考えてみましょう。
3	8月2日(金) 10:30-16:15 (休憩12:00-13:00)	〔生涯教育開発コース〕 子どもが育つ土台をつくる 辻 浩(教育学部・教育発達科学研究科/社会・生涯教育学) 横山悦生(教育学部・教育発達科学研究科/技術教育学)	グローバル化がすすむとともに人工知能が活躍する社会が訪れようとしている今日、子どもたちをどう育てればいいのか問われています。このことについて、この講座では、発達の基盤になる生活環境やその中の活動に光を当てます。具体的には、経済的・文化的な格差を小さくするためにどうすればいいのか、子どもの手を使った活動をどう豊かにできるのかを考えます。
4	8月22日(木) 10:30-16:15 (休憩12:00-13:00)	〔発達教育臨床コース〕 こころに迫る、話の聴き方 田附紘平(教育学部・教育発達科学研究科/臨床心理学)	人はさまざまに思い悩むので、皆さんも、日常生活において、誰かに相談したり、誰かから相談されたりした経験があるのではないかと思います。それでは、専門的に「話を聴く」とは、どのような行為でしょうか。本セミナーでは、臨床心理学の視点から、目の前の人を深く理解するために大切な話の聴き方を実践的に学んでみましょう。
5	9月1日(日) 10:30-16:15 (休憩12:00-13:00)	〔心理社会行動コース〕 確率・統計と私たちのつきあい方 光永悠彦(教育学部・教育発達科学研究科)	世の中の全体像をとらえるために、さまざまなアンケート調査や世論調査が行われています。しかし、本当に知りたい内容を反映した結果を得るためには、様々な工夫を重ねる必要があります。またこれらの工夫をするためには、確率の考え方を理解することが望まれます。この授業では心理学の簡単な実験を交え、より質の良い調査をするための方法や、確率・統計の基本的な考え方について、皆さんと一緒に学んでいきます。

人文学探究講座

定員：45名

申し込み締め切り：7月19日(金)

◎4回の出席を前提としていますが、希望回のみ受講も受け付けます。すべての講義を受講した参加者には「修了証」と「受講証明書」を授与します。

1	7月26日(金) 10:30-12:00	石になる神話 吉武純夫(文学部・人文学研究科/西洋古典学)	ギリシア神話には、単純素朴ながら深い意味を含んだ話がたくさんあります。この授業では、人や動物が石に変身するいくつかの神話を紹介し、それらの中に何を読み取ることができるかを探ります。そこから、神話というものの本質をも垣間見ることができるでしょう。
2	7月29日(月) 13:00-14:30	インド古典語サンスクリットの不可思議 和田壽弘(文学部・人文学研究科/インド哲学)	仏教を含めたインド思想を伝承する主要な言語がサンスクリットです。本講ではこの言語の特殊性(不思議さ)を話します。この特殊性に注目すると、当たり前と思っていた日本語や英語の文法事項が必ずしも「自明」ではないと気付かされます。サンスクリットの研究は、言語についての常識的イメージを覆すきっかけを提供してくれます。
3	7月30日(火) 10:30-12:00	時間について考える 金山弥平(文学部・人文学研究科/哲学)	過去は過ぎ去って存在しません。未来は未だ来らず存在しません。今は幅の無い点のようなもので存在しません。時間とはいったい何なのでしょう。この問題を、心理学の研究の結果なども考察に入れ、古代ギリシアのアリストテレスの立場をもとに考えてみます。
4	7月30日(火) 13:00-14:30	漢文は日本語? 中国古典は外国語? 英語で中国古典を読む 田村加代子(文学部・人文学研究科/中国語中国文学)	みなさんが高校の国語で習っている「漢文」という科目は日本の古典です。中国古典詩文を外国語として読む、とはどういうことでしょうか。漢文訓読に依らない中国古典詩文へのアプローチを英語という外国語を媒介として試みるとともに、文字が彩らす古典中国語の性質について講義します。

視覚文化探究講座

定員：25名

申し込み締め切り：8月19日(月)

会場：名古屋大学情報学部 SIS スタジオ

1	8月26日(月) 9:30-12:00	写真文化を学ぶ、風景を撮る 茂登山清文(名古屋芸術大学芸術学部芸術学科/視覚文化・ヴィジュアルリテラシー)	200年になろうとする写真の文化を学びながら、たった10年で私たちのなくてはならないツールとなったスマホで実験的な撮影をしてみましょう。
2	8月26日(月) 13:00-13:50	アートが変える、ものの見方 秋庭史典(名古屋大学大学院情報学研究科社会情報学専攻/美学芸術学)	アートの歴史をたどりながら、それがわたしたちのものの見方をどんな風に変えてきたか、お話しします。
3	8月26日(月) 14:00-16:00	描きながら観察し、描きながら考える 水内智英(名古屋芸術大学芸術学科/デザイン教育・ソーシャルデザイン)	「見ること」「描くこと」を通じて、見慣れた環境から新たな気づきを得る方法を体験します。

教育学部というと、「教師になるための学部」というイメージがあるかもしれませんが、名古屋大学の教育学部はそうではありません。人間の発達・学習・社会化など「人間形成」に関わるさまざまなことを、5つのコースに分かれて理論的・実践的に学ぶことができます。この講座では、人間の発達・成長をめぐる現代の問題について、各コースの先生と一緒に考えます。

グローバル化の進展に伴い、私たちの身近でも異文化に接する機会が増えて久しくなりました。一方、海外に目を転じてみると、移民問題など、多文化社会における様々な葛藤に関するニュースもよく耳にするようになりました。日本では、政府の外国人労働者受け入れ拡大政策により、今後さらなる社会の多文化化の進行が予想されます。こうした新たな局面を迎える中、多文化共生の実現のために、教育分野ではどのようなことがなされるのか、考えてみたいと思います。

いま、日本の教師が古くから取り組んできた授業研究が、世界から注目されています。「面白い」「楽しい」「引き込まれる」など受け止め方は人さまざまですが、その要因は何でしょうか?授業を分析する方法を考えて、実際に取り組み、授業の意義を考えてみましょう。

グローバル化がすすむとともに人工知能が活躍する社会が訪れようとしている今日、子どもたちをどう育てればいいのか問われています。このことについて、この講座では、発達の基盤になる生活環境やその中の活動に光を当てます。具体的には、経済的・文化的な格差を小さくするためにどうすればいいのか、子どもの手を使った活動をどう豊かにできるのかを考えます。

人はさまざまに思い悩むので、皆さんも、日常生活において、誰かに相談したり、誰かから相談されたりした経験があるのではないかと思います。それでは、専門的に「話を聴く」とは、どのような行為でしょうか。本セミナーでは、臨床心理学の視点から、目の前の人を深く理解するために大切な話の聴き方を実践的に学んでみましょう。

世の中の全体像をとらえるために、さまざまなアンケート調査や世論調査が行われています。しかし、本当に知りたい内容を反映した結果を得るためには、様々な工夫を重ねる必要があります。またこれらの工夫をするためには、確率の考え方を理解することが望まれます。この授業では心理学の簡単な実験を交え、より質の良い調査をするための方法や、確率・統計の基本的な考え方について、皆さんと一緒に学んでいきます。

文学部では人文学を学びます。人間のさまざまな営みを通して人間について考える学問が人文学です。過去の、そして現在の人間がどういう存在であるかを知ることは、未来に向けてもとても大切なことです。今回の講座では、『いにしえの人たちが考えたこと』を統一テーマとして、世界の古典を読むことの意義と面白さを紹介します。

ギリシア神話には、単純素朴ながら深い意味を含んだ話がたくさんあります。この授業では、人や動物が石に変身するいくつかの神話を紹介し、それらの中に何を読み取ることができるかを探ります。そこから、神話というものの本質をも垣間見ることができるでしょう。

仏教を含めたインド思想を伝承する主要な言語がサンスクリットです。本講ではこの言語の特殊性(不思議さ)を話します。この特殊性に注目すると、当たり前と思っていた日本語や英語の文法事項が必ずしも「自明」ではないと気付かされます。サンスクリットの研究は、言語についての常識的イメージを覆すきっかけを提供してくれます。

過去は過ぎ去って存在しません。未来は未だ来らず存在しません。今は幅の無い点のようなもので存在しません。時間とはいったい何なのでしょう。この問題を、心理学の研究の結果なども考察に入れ、古代ギリシアのアリストテレスの立場をもとに考えてみます。

みなさんが高校の国語で習っている「漢文」という科目は日本の古典です。中国古典詩文を外国語として読む、とはどういうことでしょうか。漢文訓読に依らない中国古典詩文へのアプローチを英語という外国語を媒介として試みるとともに、文字が彩らす古典中国語の性質について講義します。

現代は、視覚文化の時代です。写真、映像、アニメ、ゲーム、TV、インターネット、SNSと、とんでもない量の情報が、ひっきりなしに目に飛び込んできます。私たちは、それらを日々受信し、理解し、そして発信しながら生活しています。この講座では、視覚情報について知り、ヴィジュアル(視覚)を通してどのような思考ができ、また役に立つのか、講義とワークショップを通して体験し、考えていく機会を提供します。

200年になろうとする写真の文化を学びながら、たった10年で私たちのなくてはならないツールとなったスマホで実験的な撮影をしてみましょう。

アートの歴史をたどりながら、それがわたしたちのものの見方をどんな風に変えてきたか、お話しします。

「見ること」「描くこと」を通じて、見慣れた環境から新たな気づきを得る方法を体験します。